

<社会貢献活動>

川西市立明峰小学校／ヒヤリング

1. 日時：平成 24 年 10 月 5 日（木）16 時～17 時
2. 場所：川西市立明峰小学校 会議室
3. 出席：（1）学 校 3 年 1 組 中島先生
3 年 2 組 上田先生
3 年 3 組 水谷先生
3 年 4 組 松尾先生
3 年 5 組 宇城先生
（2）シニア 村瀬りい子（環境科）
4. 目的：9 月 6 日実施済み環境学習支援についての今後に向けたヒヤリング
5. 内容：すすめ方／1）環境科／感想
2）ヒヤリング資料
などをお話したり、ご覧戴きながら、約一時間に渡り、ご意見などをお伺いする。

【質問事項】

◆今回の支援を先生方はどのようにご判断なされましたでしょうか。

それはどんなところで感じになりましたでしょうか。

- ・水に入るということは、一番に安全面が気になり心配していたが、40 名もの大勢の方が来て下さり、心配は吹き飛んだ。
- ・大勢の子どもたちを受け入れて貰えて大いに助かった。
- ・一人二人の指導者はおったが、これだけの子どもを受け入れて下さる所は他にないので、とにかくこの日に合わせた。（当初 7 月→9 月 6 日）
- ・おかげで子どもたちの様子を見たり、一緒に水に入ったり、写真を撮ったりすることが出来た。
- ・大変良かった。喜んでいる。
- ・安心してお任せできた。

◆スタッフの応援体制は、如何でしたでしょうか。

- ・理想的な数で出来ました。
- ・よく 40 名もの方を集められて、驚きました。

◆時間配分は如何でしたでしょうか？

- ・予定通り。
- ・最後に少しずれ込んでしまったが？
→大勢の児童の誘導には、どうしても時間がかかってしまい、仕方ない。
- ・はじめから水に入れるようにして来ては？
→靴下をはいたり、通学ということもあり、それは仕方ない。
- ・帰りの電車時間があり、予定通りに動かざるを得なかった。

◆アメンボ実験、一ヶ月前の事前打合せの折には、まだ思いつきませんでした。

下見などを繰り返したり、動員スタッフの状況を見て、急遽プログラムに組み込みましたが、先生方はどのように感じられましたでしょうか？

“一ヶ所でやっていると、全員に見えないから、全班でやった方が良かった”

“児童の前でアメンボを殺すようなことは、絶対やるべきでない！”

など、スタッフ側にも賛否両論がありました。・・・。

◎アメンボの実験は、大変良かった！

生き物をつかまえるだけでなく、環境について考える場を提供して貰えて、大変良かったなど思いました。

- ・うちのクラスも子どもが、猪名川新聞に書いていました。（猪名川新聞に）

- ・全員の先生が大賛成！
- ・またやるとしたら、是非やって欲しい。
- ・水の汚れが、生き物を棲めなくしていることを子どもたちは実感した。
- ・一匹でも、遠くて見えなくても、話を聞きながら、心の目で見て、子どもたちは感じていた。
- ・試薬を用いて、水質検査をすることよりも、**心に響く環境学習ができて良かった！**
- ・環境についても学ぶことが出来て、アメンボの話は良かった。
- ・なぜ家庭でも水を汚してはいけないか、子どもたちは良く理解できた。
- ・実験は大いに評価する！

◆**捕獲道具について：**

- ・今回の道具で十分。
- ・全員捕獲できる大きなタモはあえて必要ない。
- ・酸素付水槽など、そこまでは不必要。

↓

- ・むしろ、なぜペットボトルを凍らせたものをバケツなどに入れているか。
- ・手で魚に触ると、魚はやけどするんだよ。

などと、直接いろいろなことを教えて貰い、そういうことが子どもたちの心に届き、大事なことだと思えた。

こうした交流をとおして、子どもは心にスーッと心に入るようなことをいろいろ教えてもらえて、大変良かった。

◆**「猪名川水質調査ハンドブック」の活用について有効活用できましたでしょうか：**

- ・大いに役立った。
- ・わかりやすく、丈夫で、とっても良かった。
- ・全児童数を準備してもらえて助かりました。
- ・事前学習に使用したり、事後にも役立った。

◆**せせらぎの水辺の使用方法について：**

- ・明峰小学校 3年生 166名…①
- ・川西小学校 5年生 40名 …②
- ・保育園児全 40名 …③

- ①公園課に使用許可届け済み
- ②③は、直接使用…？

- ・総勢約 300名という状況では、致し方ないと思う。
- ・とにかく子どもたちが楽しく水辺体験できることを願った。

◆**その他：**

- ①上記他児童などとの合同利用
- ②水量がやや多かった

などにより、

水辺の観察→石の周囲や下などに棲む小さな生き物を観察（捕獲）

→川の縁・草むらなどの生き物を捕獲・中央部・・・

などと、順に探すよう指示を出していましたが、思い描いたように出来なかった。

どの様に感じましたか。忌憚のないご意見をお聞かせ願います。

：

- ・あの状況では、致し方ない。とにかく児童数が多い。
- ・子どもは、大きな動くものを追っかけがちで、小さなものには眼が行かなかった。
- ・小さな生き物や、いろんな生き物が棲み分けをしているところまでは、あの状況では無理か。（中には、猪名川水質ハンドブックの生き物を、ひと通り捕まえられるかと思っておられた方もあり。）

◆**水に入れない子どもへの対応について：**

- 3名の子どもが水に入れずにおり、あわてて直接指導に回らせてもらったが、どうでしたか。
- あの後も、他の方に教えて貰い、子どもは一緒に参加・体験させて貰い、水に触ったり

して、喜んでいた。

・靴を忘れて、水に入る準備をしていなかった子どものその後は？：

→初めは戸惑っていたが、「どうする？」と聞くと、いつか履いてきた靴のまま入っていた。

・全員が何かしら捕まえることが出来ましたでしょうか？

スタッフには、全員が何かしら捕まえられるように、指導をお願いしておいたのですが。：

→中には、何人かゼロの子どももおったようでした。

・捕まえたものを持って帰りたいがる子どもがいたが：

原則、その場で観察をし、元の場所にかえしてあげてを周知したら、子どもも納得するし、そのように学習に繋げて欲しい。

・中には、はじめ嫌いだ・・・と言っていた子どももおったが：

嫌いと言っていた子が、いつの間にか一緒に捕まえたり、触っていた。

やはり経験不足からか。

*おやつを貰っている班あり。これは絶対やめてほしい！

*伊丹昆虫館の見学、猪名川せせらぎの水辺体験学習、そして今度の有馬富士公園見学と合わせて、生き物の棲み分けを学び、作品展に繋げたい！

◆交通費の補助（30,000円のご負担）について：

・予算内で可能であった。

◆次年度に向けての実施のご意向は如何でしょうか。：

・次年度は、担任になれるか否かはわからないので、申し送りはしておきたい。

【所感】：（環境科／感想より）

1. 学校側は、大変好意的に受け止めて下さっており、環境科内での厳しい感想などもあったが、これは今後社会貢献活動を進めていく上での、参考意見として、繋げ活かしてゆくことを臨む。
2. また、数々の厳しいご意見に応えるためには、単に一回の下見のみでなく、事前打合せや、研鑽を重ね、スキルアップをはかる必要あり。
 - 1) 子どもの水辺指導経験の無い人たちが、半数以上。
 - 2) 最終的な参加確認を把握できたのは、ほんの2～3日前であり、参加者が把握できないと、細かなすすめ方等、決めかねた。

以上（文責：村瀬）